

| | |
|--------------|---|
| Title | 道の途中で : 日本最西端の島 与那国どうなん |
| Author(s) | 大貫, 惇睦 |
| Citation | 大阪大学低温センターだより. 2020, 170, p. 18-19 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/76750 |
| rights | |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

道の途中で – 日本最西端の島与那国どうなん –

琉球大学理学部 大貫 惇睦*

今年はどういうわけか2度、日本最西端の島、与那国島を訪れました。1回目は空港の近くのホテルに泊まり友人と電動自転車で島を1周しました。2回目は孫を含めた家族旅行で、1軒の大きな貸切の宿泊でした。実は十数年前に妻と、その兄の3人で自転車で島めぐりをしたことがあります。そのときは、テレビドラマのDr. コトー診療所に感激して出かけました。

沖縄の島はお皿をひっくり返したような平らな島が数多くあり、宮古島がその典型でしょう。石垣島は八重山と言われるように高い山々があります。この与那国も山が多く、切り立った崖が多く、Dr. コトーが物思いにふけていたところは崖の近くでした。そんな訳で坂道が多く、普通の自転車ではとても登ることができない道がたくさんあります。今回初めて電動自転車に乗りましたが、本当にラクで驚きました。そのためか心に余裕が生まれ、周囲をじっくり観察することができました。

さて、今回行って驚いたのは、飛行場が大きく拡大されつつあること、インビ岳と称する山の頂上にレーダーが4台、久部良の与那国駐屯地に1台設置されていたことでした。10年後には南シナ海は中国の湖になるのではと危惧されていますが、政府もそれと対応して宮古島に400人、与那国島に200人規模の自衛隊を配置しようとしています。同時に海上保安庁も大型巡視船の石垣島への配置を予定しています。久部良の民宿の通りに面した目の前では、自衛隊員の家族を含めた宿舎が建設中でした。1500人の島の人口に、家族を入れるとおよそ400人規模の人口が加わることになります。現在沖縄の人口は本島が現状維持、他の全ての島で人口減少になっていますので、この増加は大きいものがあり、いろいろな波紋を広げています。

今回の島めぐりで気づいたことは水田がかなりあること、小型でおとなしいヨナグニ馬が今も大事に育てられていること、気候が他の島よりも激しいのではと思いました。孫たちが乗ったヨナグニ馬ですが、昔は農耕に使われ、民宿にあった与那国町100年史の写真では役人が交通手段として乗っていました。与那国は主として3つの集落があり、役場のある祖納（そない）、カジキの漁獲高日本一の久部良（くぶら）、Dr. コトー診療所のセットがそのままある比川（ひがわ）です。「琉球の時代」の著者である高良倉吉氏も加わった100年史を読んでいると、町木のクバ（ビロウ）を利用した生活用具は多種多様あり、そのクバの葉を採取しに尖閣諸島の魚釣島まで一昼夜かけて出かけていたことが記され、尖閣諸島の所有者の関係者の写真まで掲載されていました。

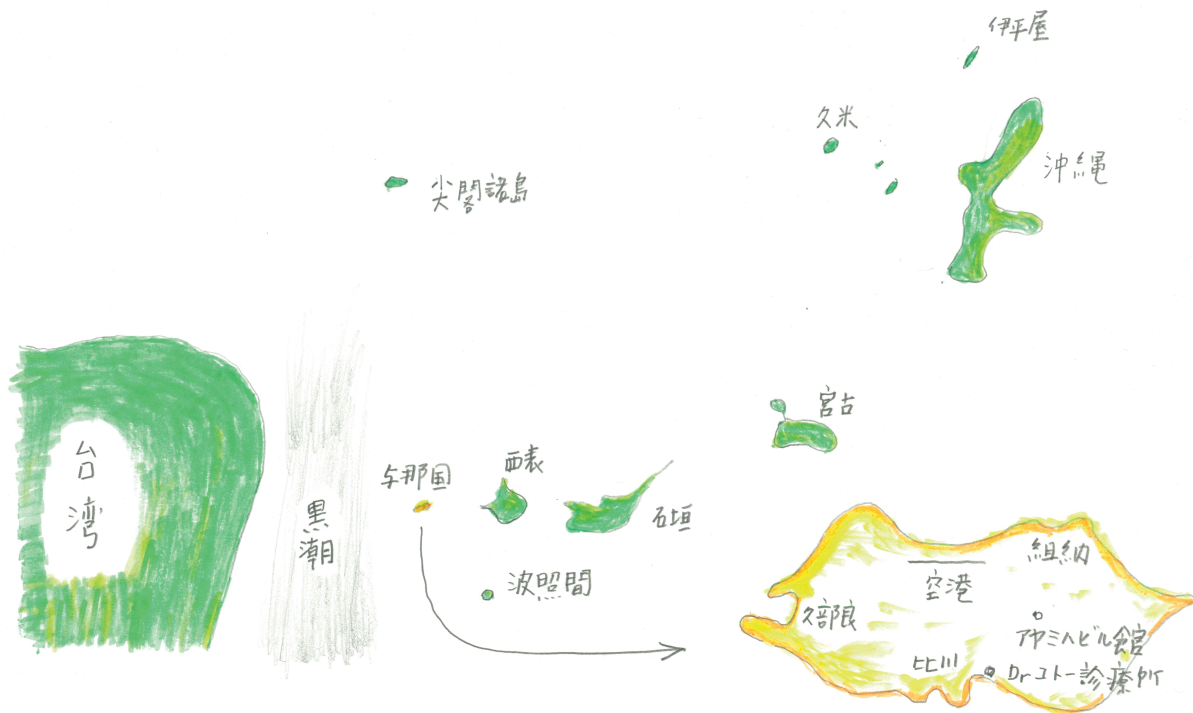
与那国島と台湾とは111kmの近間の距離ですが、日清戦争後に台湾が日本の領土になってから、活発な交流が台湾と与那国であったようです。島のほとんど全ての結婚前の娘さんたちが台湾の日本家庭のお手伝いさんとして働いていたことにも反映されています。数年前から日本科学博物館が日本人の祖先が約3万年前に台湾からどのように渡来したかを実証するために、最初は草の茎、次は

*大阪大学名誉教授

竹で船をつくり失敗し、今回は木をくりぬいて成功しました。ご承知のようにフィリピン沖から発した黒潮は、台湾と与那国の間を秒速1~2 mで北上し、尖閣諸島付近の大陸棚にぶつかって北東に向きを変え沖縄本島の西を通り、本州南岸へと北上します。この黒潮の強い流れを考慮して、出発点を台湾の南東部、1-2-√3の三角形の”2”の地点としたようです。手でこぐ3万年前を想定した船ですので与那国に到着するのに2昼夜かかりました。

与那国と台湾とは今も交流があり、花蓮市とは姉妹都市の関係です。台湾はシャープを買収してしまう経済発展と技術能力があり、若者のマナーもさすががいい。台北の町中の細い路地を歩いていると、かつての日本家屋がひっそりとあり、なつかしいような不思議な気持ちになります。沖縄で私が一番好きなものはぜんざいです。おしるこではなく、かき氷です。甘く煮た金時豆が器の底にあるかき氷です。台湾のかき氷もやみつきになります。ふわっとしたかき氷に甘いマンゴーがふんだんに盛り付けられているのです。

沖縄は日本の南西の端に位置しますが、その中でも最西端の与那国で、深夜100年史を読みながら、木々の葉のざわめきと虫の音に耳をすまし、過去から現在の日本を考える良い旅になりました。



日本最西端の島 与那国